

オレンジ学級2 学習指導案

1 単元 「すごろく型ボードゲームで相手の気持ちを考えよう」

- 2 目標
- すごろく型ボードゲームを通して様々な場面での自分の行動について考える。(知識・技能)
 - 伝える時のポイントを意識し、自分の考えを相手に言葉で伝え、伝えることに対して自信をもつことができるようにする。(思考・判断・表現)
 - 相手の意見をよく聞き理解し、自分とは別の考え方があることに気づくことができ、自分だったらどうするのか考える力を育てる。(学びに向かう力・人間性)

3 指導観

(1) 生徒の実態

1年生A 知的。友だちとうまくコミュニケーションを取ることが苦手で、言いたいことを伝えることも苦手である。着替えや移動など次の行動に移る際、時間がかかって次の時間に遅れることが多い。初めてのことに抵抗を感じるが多く、活動の手順などを示し、見通しを持たせると抵抗なく活動することができる。交流学級では、係や清掃時間で自分がすべきことを理解しており、積極的に活動できている。

2年生B 知的。滲出性中耳炎（小5に手術）により学習に集中することが苦手である。身の回りの整理整頓も苦手で、持ち物がそろわないことが多い。自分から気持ちや考えを伝えることに抵抗があり、声が小さくなる、机に伏せることが多いが、自分の意見に自信を持つと積極的に行動、発言できる。卓球部に在籍しており、積極的に練習に参加している。卓球の話や好きなことについては自分の気持ちを伝えることができる。

(2) 単元について

オレンジ学級の生徒たちにとって、周囲の状況を把握したり、相手の気持ちを考えたりすることが苦手であるために慣れない人や環境によっては、緊張や不安、自信のなさにより、自分の思いや考えを伝えることができないことが多く、困っていることも伝えることができずにストレスを抱えやすい状況にある。また、経験したことがある場面であれば、自分がとるべきよりよい行動を考え、自分から進んで思いや考えを伝えることができるが、経験していない場面に対してはどのようにしてよいか分からずに戸惑ってしまい、はっきりと言葉にできない、机に伏せ姿勢が悪くなるなど上手に言葉で伝えることができないこともある。そこで、本単元では、様々な場面で、自分がどのように思い考えるのかを理解し、その思いや考えを伝え、相手に自分の気持ちをよりよく理解してもらうにはどうしたらよいのか学習する。このような学習を通して、子どもたちが、実際の場面に応じたよりよい行動を考え、周囲の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもつことができると考える。

使用するゲームは、活動への興味・関心を持続することができるように、止まったマスの指示に従って進むすごろく型を準備する。また、ゲームでは、場面設定をした複数のカードを準備し、その中からカードを引くことで場面設定を行う。

指導にあたっては、相手に自分の気持ちをよりよく理解してもらうために、自分の思いや考えを伝えるときの大切なポイント「はっきりと」、「姿勢よく」を意識しながら活動できるようにする。活動を振り返り、自分ができるようになったことに気付いたり、周囲に自分の頑張りやよさを認めてもらったりすることで、自分の思いや考えを伝えることに対して自信をもつことができるようにする。また、自己の変容を実感できたり、他者に認められたという喜びを味わったりすることで、自己肯定感を高め、生活を更に豊かにしていくことにつながると思う。

4 単元指導計画 (計3時間) 知識・技能【知】 思考・判断・表現【思】 学びに向かう力・人間性【学】

次	時	学習活動・内容	ねらいと具体的な支援	評価規準(観点:方法)
一次	1	1 すごろく型ボードゲームを使い、自分がどのように行動するのか考える。 ・ボードゲームの遊び方、ルールを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ボードゲームのルールを確認し、理解できるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ボードゲームをスムーズに行えられるように1つずつ手順を確認し、全員がルールを確認する。 	知：ボードゲームのルールを理解している。(様相)
二次	本時 1/2	2 具体的な場面で、自分の思いや考えを伝えるときの大切なポイントを意識しながら、自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。 【ゲームの内容】 (1) マスに止まるごとにカードを引く。 (2) カードに書かれてある場面に応じたよりよい行動を考える。 (3) 自分の考えを発表する。 (4) 発表することができたら、お互いの考えを聞き、ゲームを進める。 (5) ゴールを目指す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の思いや考えを伝えることに対して自信をもつことができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ルールを再度確認し、前回よりもスムーズにボードゲームを行う。 ○ふざけて不適切な答えを出す生徒には、すぐ否定をせず、まずは考えに対して受けとめる。その後、次のステップで進める。 ・自分がどんな気持ちになるのか問いかける。 ・それをするとどうなるのか問いかける。 ○気持ちを表現しにくい生徒に対して、表情カードを用いて選ばせる。 	思：様々な場面で自分がどのように行動するのか考えている。(発表) 学：相手の意見をよく聞き、自分だったらどうするのか考えている。(様相)
		2 3 繰り返しボードゲームを行い、より多くの具体的な場面で、自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○発表者の答えに対して、どのように思ったのか周りの考えを確認する。 ○気持ちを表現しにくい生徒に対して、表情カードを用いて選ばせる。 	学：まわりの考えを聞いて、自分とは別の考え方があることに気づくことができる。(様相) 思：自分がどのように行動するのか考え、行動に自信をもつことができるようにする。(発表)

5 本時 令和元年12月17日(火) 第2校時 オレンジ3教室において

(1) 本時の指導観

前時の授業で生徒は、すごろく型ボードゲームを使って、様々な場面で自分がどのような言動をするのかを考えた。そこで、本時では、具体的な場面で、自分の思いや考えを伝えるときの大切なポイントを意識しながら、自分の思いや考えを言葉で伝え、自分の思いや考えを伝えることに対して自信をもつことをねらいとしている。まず、めあてを確認する。ここでは、伝えるときの大切なポイントとして、「はっきりと」、「姿勢よく」を意識しながら伝えることを確認する。

次に、ボードゲームを行う中で、発表者の意見に対してどのように思ったのか相互評価をする場を設けたい。最後に活動を振り返ることで、自分の考えをしっかりと伝えられたのか自己評価したり、互いの発表やよさを相互評価したりできるようにする。活動を通してよかったところを知ること、自分の思いや考えを伝えることへの自信を深め、家庭や交流学級の中でも学習したことを生かそうとする思いをもつことができるようにする相手に伝わる表現方法を身につけさせたい。

(2) 本時の主眼

- ・すごろく型ボードゲームを通して様々な場面での自分の言動について考えることができる。
- ・自分の思いや考えを伝えることに対して自信をもつことができるようにする。

(3) 振り返りの視点

活動を振り返ることで、自己評価したり、互いの発表やよさを相互評価したりできるようにする。活動を通してよかったところを知ること、自分の思いや考えを伝えることに対して自信をもつことができ、家庭や交流学級の中でも学習したことを生かそうとする思いをもたせる。

(4) 準備

- ・SST ボードゲーム
- ・表情カード

(5) 展開

段階	学習活動・内容	具体的な支援	評価	配時
つかむ	1 学習課題をつかむ。 (1) ボードゲームを見せて、前時の内容をおさらいする。	ボードゲームを見せてルールを確認する。		5分
	めあて はっきりと姿勢よく、自分の考えを伝えよう。			
さぐる	2 自分の思いや考えを伝えるときの大切なポイント「はっきりと」、「姿勢よく」を確認し、ボードゲームを通して、様々な場面での自分の考えを伝える。 【ゲームの内容】 (1) マスに止まるごとにカードを引く。 (2) カードに書かれてある場面に応じたよりよい行動を考える。 (3) 自分の考えを発表する。 (4) 発表することができたら、お互いの考えを聞き、ゲームを進める。 (5) ゴールを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・ふざけて不適切な答えを出す生徒には、すぐ否定をせず、まずは考えに対して受けとめる。 ・気持ちを表現しにくい生徒に対して、表情カードを用いて選ばせる。 	<p>思：様々な場面で自分がどのように行動するのか考えている。(発表)</p> <p>学：相手の意見をよく聞き、自分だったらどうするのか考えている。(様相)</p>	40分
深める	3 まとめ・振り返り ・今回の活動を振り返り、全体で交流する。	・今回の活動で出てきた場面を振り返り、活動の感想や良かったところについて交流する。		5分